

令和2年度第2回京都府総合教育会議

令和2年11月5日(木)13:00～14:00

京都産業大学むすびわざ館3階3-A教室

1 開 会

2 府教育委員会における取組状況報告

3 意見交換

4 その他

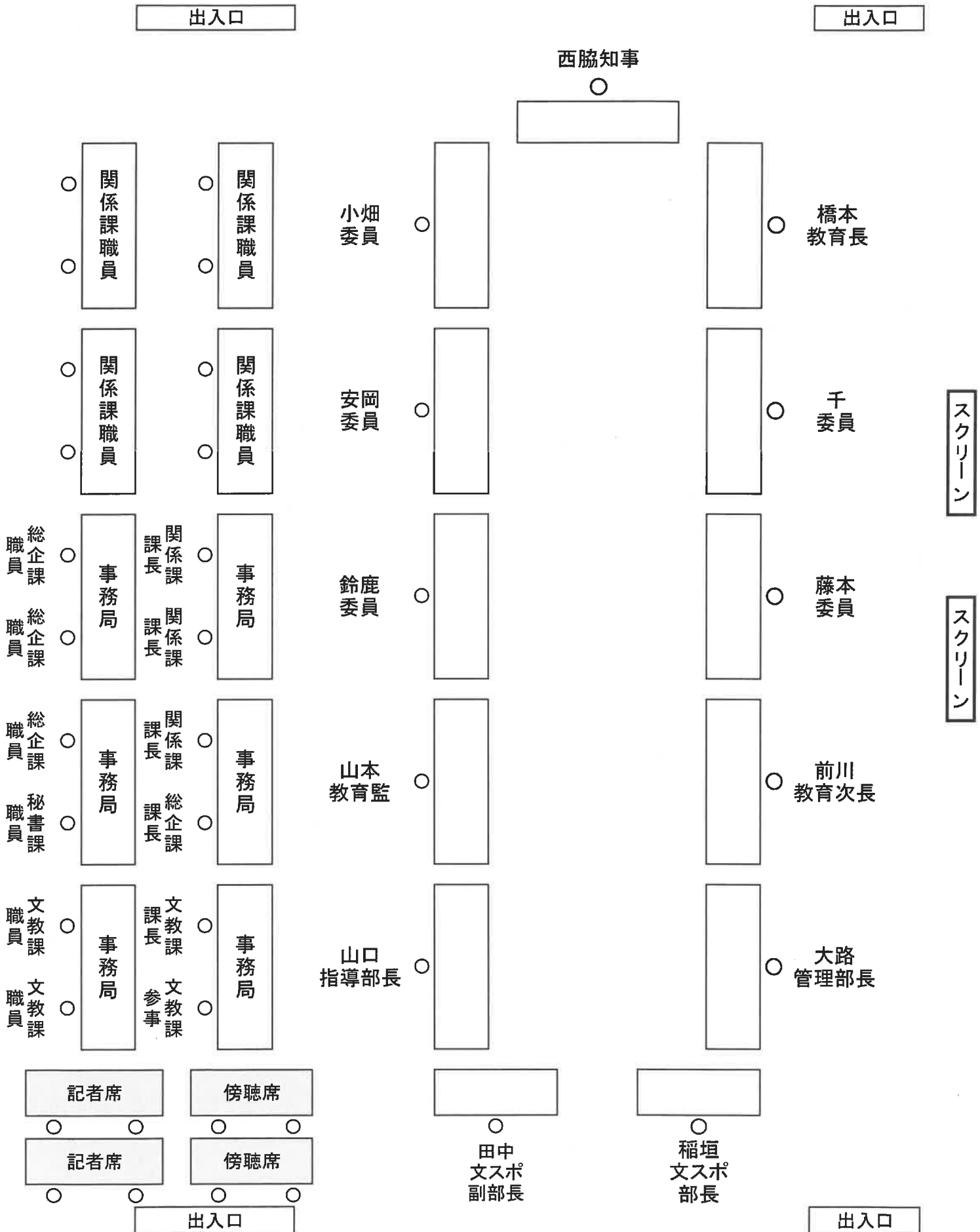
5 閉 会

令和2年度 第2回京都府総合教育会議 配席図



令和2年11月5日13時～14時

京都産業大学むすびわざ館3階 3-A教室



「京都の文化力を生かした教育」について

令和2年11月5日
教育委員会

1. 府教育委員会の主な取組

(1) 高校生伝統文化事業

- 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度を育成するため、京都府にゆかりの深い茶道・華道等を通じた伝統文化の学習を実施

	H29	H30	R1
茶 道	全校	全校	全校
華 道	25 校	25 校	25 校
その他（和歌など）	25 校	24 校	29 校

- 文化的建造物の見学や地域文化フィールドワークを行う伝統文化推進校を指定（毎年6校）

(2) 府立高校生グローバル文化カフェ事業

- 教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」として、英語での観光ガイドや京都の伝統文化の共同体験などを実施
＜実施例＞ きものの着付け、茶道体験、お琴の体験等

	H29	H30	R1
高 校	19 校	21 校	17 校
生徒数	4,785 人	3,188 人	4,902 人



(3) KYO 発見 仕事・文化体験活動推進事業

- 小中学生に望ましい職業観・勤労観、京都の伝統・文化を大切にしている心等を身につけさせるため、地域社会における仕事や文化等の体験活動を実施
＜実施例＞ 茶摘みや製茶、生け花、清水焼陶器作り、郷土料理、和太鼓など

(4) 「ふれあい・心のステーション」の開催

- 地域の方の協力を得ながら、特別支援学校の生徒自らが製作品（窯業・木工・縫製・農産品等）の販売実習・実演を大丸京都店において実施

	H29	H30	R1
来場者	約7千人	約4千人	約7千人
売 上	2,210,650 円	1,822,860 円	1,955,800 円

(5) 子どものための地域連携事業

- 放課後等における子どもの体験活動・学習活動・異世代交流等の一層の充実を図るため、学校や社会教育施設等を子どもたちの安心・安全な居場所として活用する「京のまなび教室」の開設を支援

<内容> 地域の方々から囲碁や将棋など、学校の授業では体験できないことを学ぶ

(6) 文化財の保存と活用

- ①府内の有形・無形文化財を指定等し、地域活性化等に向けた活用を推進

	H29 末	H30 末	R1 末
指定登録・実件数	765 件	780 件	786 件
暫定登録件数	1,016 件	1,143 件	1,211 件

- ②埋蔵文化財セミナーや夏休み考古体験教室等を実施

H29	H30	R1
3,438 人	3,104 人	3,998 人

- ③国史跡恭仁宮跡や府内の文化財を活用し、バスツアー等を実施

H29	H30	R1
46 人	32 人	55 人

(7) 府立郷土資料館の取組

- 大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公・明智光秀と盟友・細川幽斎に関する展示や文化財講座
- 地域の伝統産業である養蚕や製糸の歴史と文化を知るイベント開催 など

(8) 府立図書館の取組

- 「古典の日記念事業」として、松栄堂 主人 畑 正高 氏 を講師に招き、「古典に学ぶ香りの暮らし」についての講演会を実施 など

(9) 府総合教育センターの取組

- ①「京都府の『歴史・伝統・文化』を学ぶために・教えるために」を作成

○府内の子どもたちに「京都府の伝統や文化」を教えるため、初任者・新規採用者研修等の研修テキストとして活用

- ②京の教育「みやび」講座

○京都の歴史、伝統・文化について体験的に学び、教科横断的な視点での効果的な学習を着想し、実践につなげる。

<内容> 「能楽」の歴史や見方 など



2. 府立高校の主な取組例

学校名	事 項	内 容
嵯峨野	海外との交流	インドの高校生と、 お互いの国の文化 についてオンラインで交流
嵯峨野	源氏物語 京都スタンプラリー	京都に住む人や観光客を対象に、企業と連携して京都市内の『源氏物語』ゆかりの社寺等（下鴨神社、上賀茂神社、仁和寺など）12箇所を巡るスタンプラリーを企画
桂	「地産知菜」の提供	レストランとコラボし、桂高校の 京の伝統野菜 を生かしたメニューを「地産知菜」として提供
桃 山	防災フィールド ワーク	高校生が地域の方と、1953年 南山城水害 の傷跡を測量し、現在の氾濫の危険性を考察
洛 水	藍染め体験	伝統産業 を学び、伝える授業として、生徒自らが栽培している藍を収穫して染色を実施
京都 すばる	企画力とアフリカと 向島をつなぐ	高校生が、あしなが育英会のアフリカ人奨学生と「 向島まつり 」で オンラインイベント を開催
京都 すばる	伏見稲荷大社周辺の まちづくりを考える	コロナ後の伏見稲荷大社周辺の まちづくり について地元住民や伏見区役所から講義を受け、京都工学院高校と意見交換（リモート交流）
南 丹	京都文化学入門	地域の伝統文化 である「出雲風流花踊り」の体験を通して、地域の歴史や現状を考察
東舞鶴	昔の農村の 暮らしを学ぶ	舞鶴市小倉の 国指定重要文化財 ・行永家住宅で歴史学習の授業を実施
大 江	全国初の総合学科 「地域創生科」を 今年度設置	各種イベントの企画や運営、地域の課題解決策の提案などの実習を通して、郷土愛をはぐくむ取組を展開。学校を飛び出し、 高校と地域が丸となる学校づくり を今後も推進

3. 参 考（文化スポーツ部所管事業）

（1）文化を未来に伝える次世代育み事業

○すべての子どもに質の高い文化・芸術を体感する機会を提供し、豊かな心を育成するとともに、京都の文化・芸術を次世代へ継承

<内容> 文化芸術体験事業に係る専門家の派遣
狂言、能楽囃子方、オペラの鑑賞 など

（2）全国高校生伝統文化フェスティバル

○全国各地で古くから受け継がれている太鼓や踊り、箏曲など、伝統文化に勤しむ全国トップレベルの高校生が京都に集い、圧巻の演技を披露

○全国の高校生を迎えるにあたり、府内高校生が歓迎プログラムや司会進行、運営面でも活躍するなど、まさに高校生の手による「高校生のフェスティバル」

※今年度は、京都と全国各地の高校を結ぶライブ配信

<内容> 嵯峨野高校：狂言「花争」
菟道高校：宇治田楽「惣踊り」 など